



かおにし

川西高等特別支援学校
学校だより 第23号
令和4年3月18日

充実した1年間

教頭 遠藤 知子

コロナウイルス感染症拡大により、各種行事に制限がかかって思うように取り組めないこともありましたが、当校は広い空間があること、そして何よりも先生方が当校の教育目標達成にむけてコロナの中でも教育活動が充実できるよう消毒の徹底、密にならないように工夫しながら授業に取り組んでもらったおかげで、充実した一年間を過ごすことができ、生徒たちも成長がみられたのではないかと感じています。

特に今年度はオリンピック・パラリンピックイヤーで、当校でもオリンピックパラリンピック教育推進事業校2年目として新たにいろいろなことにチャレンジしました。まず家庭科で外国の麺料理に取り組み、音楽では外国の音楽を通して外国の文化について楽しみながら学びました。また茶道を通して日本の文化である「おもてなしの心」を学びました。実際にアスリートの取材をしている方とのトークショーでは、多くのオリンピックやパラリンピアン、そして様々な競技種目を知ることができました。また、「義肢装具士という仕事について」では実際に義足を見たり、オンラインでしたがその人たちをサポートする義肢装具士の方のお話を聞いたりすることができました。たくさんの人たちとの交流を通して自他を認め目標に向かって取り組む姿を感じることができたのではないかと思います。



昨年度は現場での実習がほとんどできず、卒業後の進路に向けて不安がありました。今年度は地域の事業所等のご協力を得て、感染にも十分気を付けながらふれあいジョブや現場実習を実施することができました。やはり生徒たちにとっても学校ではなく「現場で学ぶ」ことは何よりもとても力になりました。実習をひとつ終えるごとに良い表情で戻ってくる生徒たちを見てみると、とても頼もしく感じました。学習の機会は私たちが準備しますが、集中して学ぶことができるよう体調を整えることは、私たちだけではできません。生徒の実習に向けてコロナ対応も含め体調を整えていただいた保護者の皆様には感謝申し上げます。



さて、もうすぐ卒業、進級、入学です。生徒たちにとっては大なり小なり自分の周りの環境が変化します。その変化に対してストレスを感じることもあるかもしれません。頑張れる人もいるかもしれません。慣れるまでに気持ちが折れそうになることもあるかもしれません。そんなときにいかに自分の気持ちを整えられるかが、これからの重要な課題になります。「どんなことをすると自分の気持ちがスッキリするか」自分の気分転換の方法や自分の気持ちの切り替えの方法を見つけることが大切です。ゲームは止められなくなることがあり良くないので、例えば朝お日様の光を浴びる、散歩をする、静かなところに行き深呼吸をする、体を思い切り動かすなど自分に合う方法で見つけると良いでしょう。

早寝早起き朝ご飯！来年度も充実した一年間になるよう、春休み中体調を崩すことなく元気に過ごしましょう。最高のスタートを切れるように・・・。

「強さ」とは

3 学年主任 井口 哲朗

13 名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症は未だ終息が見えない状況ですが、そんな中でも皆さんは様々な場面で活躍してくれました。

日々の生活では、職業技能での班長や各種委員会の委員長などリーダーシップを発揮し、皆をまとめてくれました。また、生徒会活動では、会長の福原新大さん、副会長の太田絵美里さんを中心に、生徒総会や生徒集会の進行やスポーツフェスタでの生徒会種目の成功など、こちらも下級生をリードし見事に役を果たしてくれました。

修学旅行や校外学習などの行事においては、冒頭に申し上げたように新型コロナの影響でたび重なる行き先や日程の変更があったにも関わらず、気持ちを切り替え、その都度オンライン会議やビデオレター形式質問に代えて学習を重ねてきました。その中で、J R 新潟鉄道サービス株式会社の方からは、「社会人になるにあたっての心構え」や「時間に対する考え方」を、修学旅行での訪問先の皆様からは「おもてなしの心」と、大変貴重なことを教えていただきました。

さて、質問ですが、皆さんは自分たちの強さは何だと思いますか？強さと聞くと、力が強い、仕事が器用にできて速いなどが挙げられるかと思いますが、私が思う皆さんの「強さ」は、「正直」「素直」「一生懸命」だと思います。数年前、カフェ班での講師としてグリーンピア津南の方から接客のご指導いただいたことがありました。その際に「川西の接客には一生懸命さがある。お客さんはそれが見たくて来るんだよ。」とおっしゃっていただきました。このことは、カフェ班の生徒に限らず、川西の生徒すべてにあてはまることだと思ったことを憶えています。

これから社会に出るにあたり様々な困難や不安があるかと思いますが、皆さんの周りには支えてくれる家族やサポートしてくれる方々がいます。困ったときは遠慮せずに相談してください。そして、持ち前の「正直」「素直」「一生懸命」を武器に頑張ってください。応援しています。



卒業生の進路

13 名の進路先は、下表のとおりです。感謝の気持ちを忘れずに 4 月から社会人としての責任を果たしてください。

企業就労 5 名			福祉サービス利用 5 名	その他 3 名		
製造業	高齢福祉業	建設業	就労継続支援 B 型	業務補助員	進学	未定
2	2	1		1	1	1

後期学校評価の報告

1月下旬に、保護者の皆様から後期の学校評価アンケートに答えていただきました。以下、アンケート結果を報告します。すべての評価項目において、「そう思う」・「おおむねそう思う」の肯定的な評価を多くいただきました。一方で忌憚のないご意見もいただきました。ご記入いただいたご意見は全て掲載させていただきました。来年度も生徒、保護者、地域の皆様の期待に応えられるよう、一層努力して参ります。ご協力ありがとうございました。

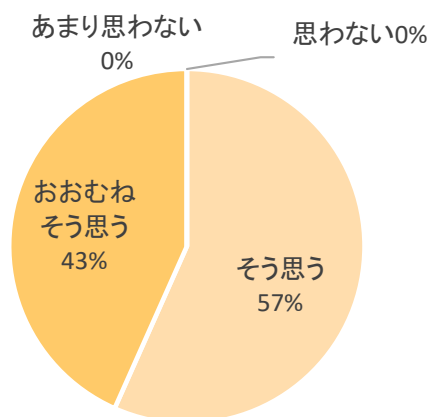
(1) 教育課程

学校は、地域資源を生かし、地域社会での体験的・実践的な学習や生徒の将来に必要な力を身に付けるための学習を実施し、また、その充実を図っていると感じますか。

【ご意見】

- ・十日町地区の企業や福祉施設と連携して実践的な学習しているところが、素晴らしいと思います。
- ・子どもの特徴をとらえて、子供に合った実習先の選択をしてくださっていると思います
- ・公共施設の利用の仕方など、なかなか親子でそういった所へ行くことができないので、ありがたい。学校のみならず一緒の方が身につくと思う。

(1) 教育課程



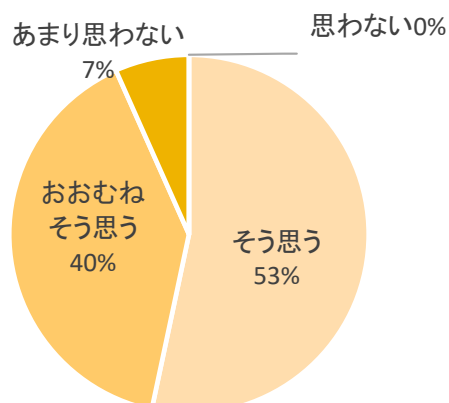
(2) 学習指導

生徒は、授業を通して、将来の夢や目標をもって取り組もうとする意欲を高め、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能、態度を身に付けていると感じますか。

【ご意見】

- ・生徒が自分の将来の目標(仕事)を見つける(決める)ために「〇〇の仕事をするためには◎◎の資格が必要です」「△△の練習をしておくといい」などの情報を先生から生徒へ出していただけると助かります。
- ・子供が夢を見失わないように、アドバイスをありがとうございます。
- ・子供自身が先生のご指導がよくわかり、自分が成長している実感をもっていると話をしてくれます。
- ・授業(家庭など)についていくのが少し大変と言っています。

(2) 学習指導



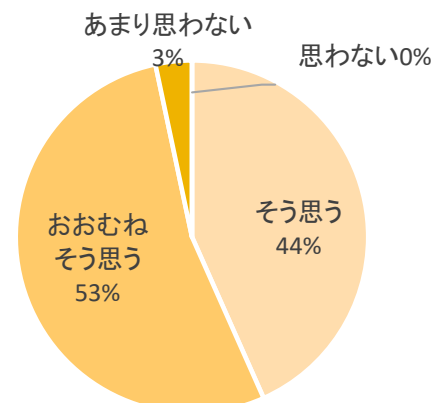
(3) 生徒指導

生徒は、学校生活を通して、人権意識を高め、人を思いやる気持ちやいじめを許さない態度が育っていると感じますか。

【ご意見】

- ・1つ1つの経験が大切だと思います。今後とも小さなトラブルを起こさせないのではなく、起きて自分の気持ちを伝えたり、対処や考え方、思いやり等をご指導いただけたら幸いです。
- ・子ども本人は「いやな人、嫌いな人はいない」と言っている。学校でのそういった授業が役に立っていると思う。

(3) 生徒指導



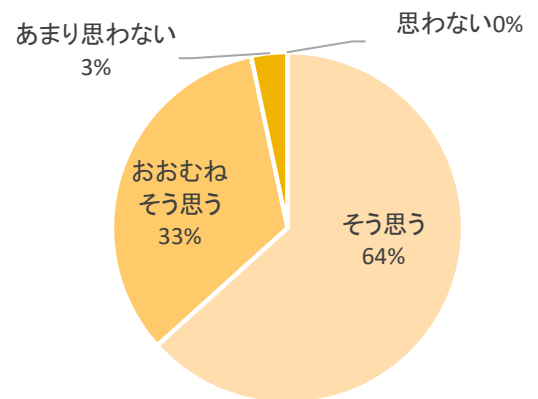
(4) 安心・安全な学校づくり

学校は、学習環境を整え、生徒にとって安心・安全な学校づくりに努めていると感じますか。

【ご意見】

- ・校内のいたるところに安全への配慮がされていると思います。

(4) 安心・安全な学校づくり



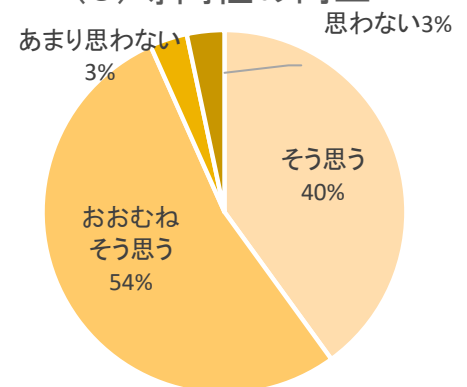
(5) 専門性の向上

学校は、生徒に必要な配慮を行うとともに、生徒が個性を十分発揮できる授業づくりに取り組んでいると感じますか。

【ご意見】

- ・学習参観で面接の授業を拝見しましたが、面接が画一的に上手になることよりも、生徒個々が自分の特性(個性)の中で周囲の人とコミュニケーションがとれることの方が重要だと思います。
- ・良いところは褒め、直さなければいけないところは諭していただき、子供が目標を失わないよう接してくださりありがとうございます。
- ・一般的な指示が入りにくいタイプの生徒が以前より混乱しているように見えました。フローチャートや活動を細分化して、自分で記入し、それを元に活動ができるように支援をしていただけませんか？それにより一般的な指示がだんだんとわかるようになると思っています。
- ・職業技能の中に、もう少し違う実技コースがあっても良い。

(5) 専門性の向上



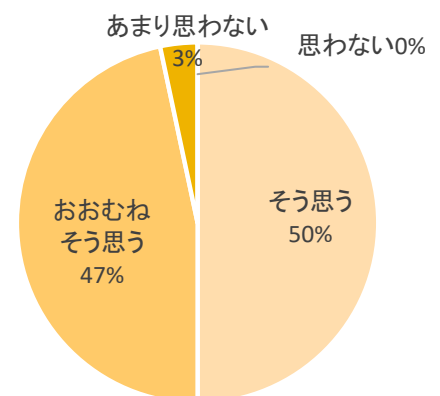
(6) 関係機関との連携

学校は、家庭や地域に向けて学校の取組や生徒の様子を発信し、家庭や福祉・労働等の関係機関との連携を図っていると感じますか。

【ご意見】

- ・保護者への情報発信は十分だと思います。地域への発信のために、ホームページを見やすくしていただけると情報が伝わりやすくなると思います。
- ・卒業後のことについて、なるべく本人の希望にそえるようなアドバイスなどをいただいた。そういう話し合いができることがありがたいと思う。

(6) 関係機関との連携



(7) その他 (お気付きの点など)

- ・入学時から疑問だったのですが、1Aと1Bは1つの教室を2つに仕切りを作って2つの教室に分けて使っていますが、狭く感じました。空き教室があるのであれば、そちらを使った方がよいのではないかと思います。
- ・接客、介護に力を入れるのは良いと思いますが、土地柄、電子・電気等の方面にも進められるように幅広く経験させたいと思いました。
- ・1日1日を大切に頑張っています。
- ・3年間、大変お世話になりました。「静」の活動、「動」の活動と様々な活動・行事・体験を学校でさせていただきました。どれも家庭ではなかなかできないことばかりで、子供にとっても親にとっても大変意義のある学校生活を送ることができました。ありがとうございます。
- ・企業に求められたと言うスピード感に対応するにはいくつかの段階が必要と思っています。最初に身に付く速度で生徒本人の理解というベースを作り、次に繰り返すという一定の回数以上の経験を積ませて、この段階で少しずつ変化する事態の対応も学び、最終的には何かしらのリズムの刻むもので制度を保ちながらゆっくりから徐々にスピードアップする練習をさせてほしいです。
- ・リミック等を使って、動く・止まるを体に覚えさせてほしいです。
- ・進路に関してたくさんの会社がある中で、それぞれの会社で何をやるのかかわかるファイルを生徒が自由に見られる形にできたらいいのかなと思います。可能なら保護者向けにも配っていただけたらいいのかなと思います。(進路説明会でそう感じました)